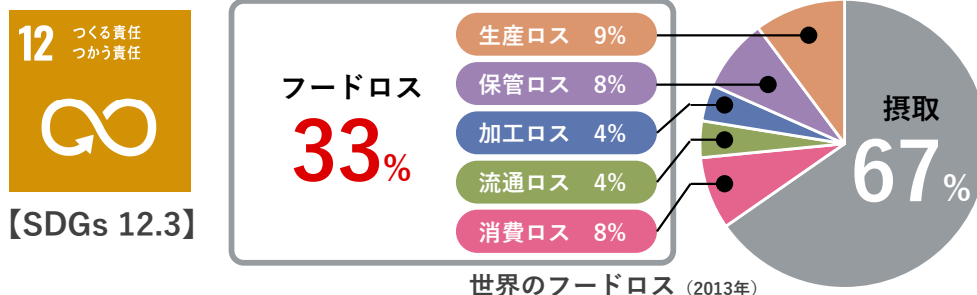


## 拠点名称：革新的低フードロス共創拠点

代表機関	大阪大学	プロジェクトリーダー	福崎 英一郎 大阪大学大学院工学研究科 主幹教授 先導的学際研究機構産業バイオイニシアティブ研究部門 部門長
参画機関	(大学等) バンドン工科大学、ポゴール農科大学、インドネシア技術評価応用庁 (BPPT)、JETROアジア経済研究所、熊本県立大学 (企業等) 株式会社島津製作所、アトナープ株式会社、ラピステクノロジー株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、株式会社阪急阪神エクスプレス、エスペック株式会社、株式会社関通、株式会社ニチレイフーズ、住商フーズ株式会社		

### プロジェクトの概要

世界では食料生産量の約3分の1が廃棄されている。フードロスは資源の無駄遣いのみならず環境にも悪影響を及ぼすグローバルな社会問題であり、SDGs12.3には「生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる」と設定されている。当該目標達成のため、本拠点は革新的フードDX技術を開発し、フードロスが低減したレジリエントな食品サプライチェーンを構築する。さらに、環境低負荷型新規食材を開発し、エシカル消費を推進させる。加えて、新たなフードソリューション人材を開発する。最終的に、拠点ビジョンを達成することにより、「食に関わるすべてのステークホルダー」が、幸せを感じ、環境にやさしく、食の循環によって国境を越えて良好につながりあう社会を目指す。



### 拠点ビジョン フードDXが拓く低フードロス・エシカル消費社会の実現

